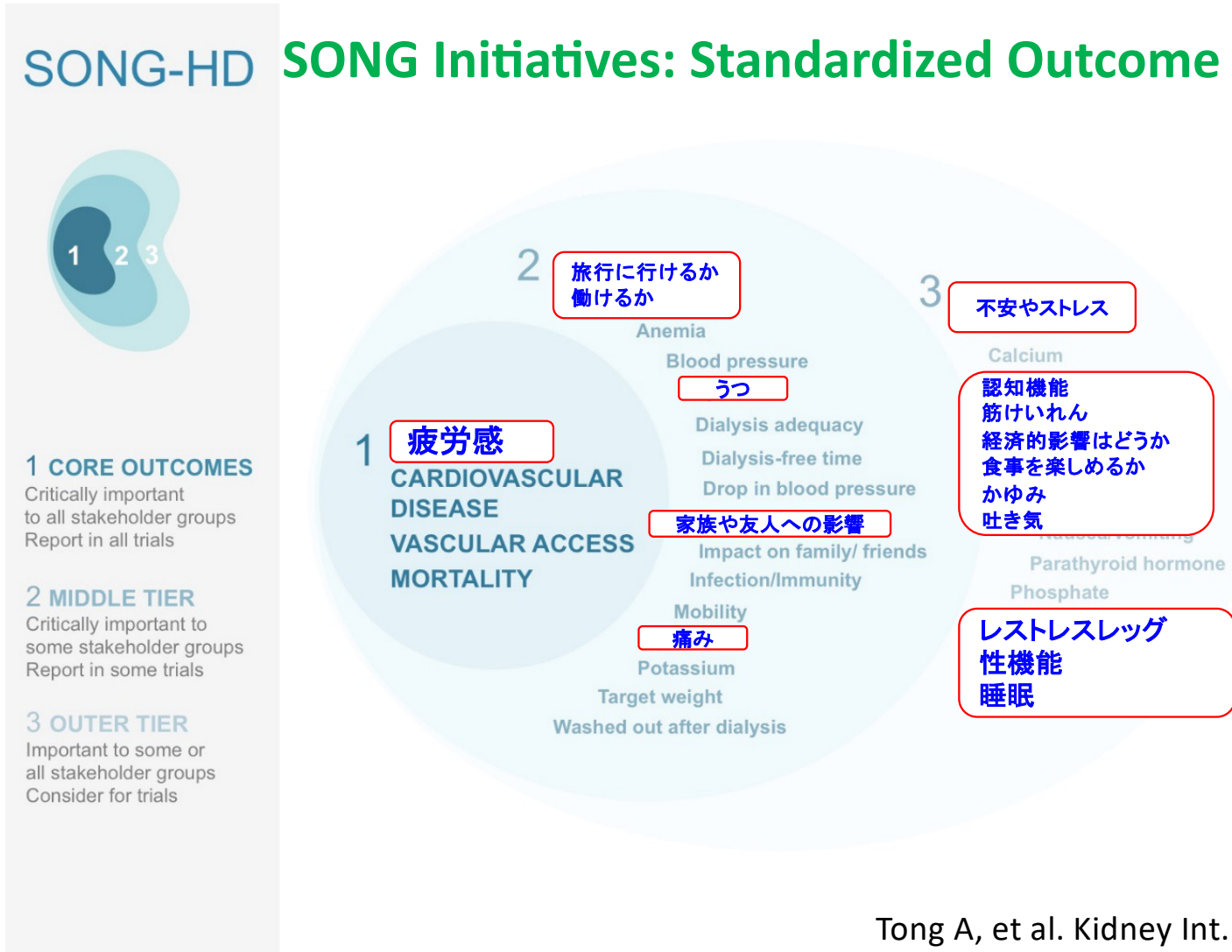


患者にとってメリットのあるアウトカム

SONG-HD SONG Initiatives: Standardized Outcome in Nephrology



これまでの透析治療のコンセプトを問い直す

- 末期腎不全では高齢者でもできるだけ透析治療を開始し、できる限り継続する。
- 透析は週3回4時間が標準である。
- 生命予後を考えると、KT/Vは高い方がよく、血流量、ダイアライザ膜面積、透析時間は大きい方がよい。
- これらは、コホート研究に基づく、EBMの指標から作られた指標(レコメンデーション)である。
- これからは患者の訴えに基づいたアウトカム (Patient Reported Outcome: PRO) を中心におく必要がある。

潜在的にQOLを落とす可能性のある因子

- 不適切なDW,過剰除水
- 高すぎる透析効率、蛋白漏出
- ミネラル不足:リン、カリウム、マグネシウム、亜鉛、鉄

PROを中心に据えた透析医療への課題

- 患者の訴えを正確に評価する視点・指標をもつ。
- **現在の問題点・解決策を協同して考える仲間をつくる。**
- RRTのオプションを増やす、PD、HHD、CKM
- 保存的治療(Conservative Kidney Management: CKM)の体制、地域でのフォローアップシステムを作る。
- 院内の倫理委員会を整備する